

令和4年度 農林水産分野の先端技術展開事業 現地実証研究一覧

分野	研究課題名	研究実施機関(コンソーシアム) (下線は代表機関を示す)	研究概要	今年度の主な研究内容	達成目標 (R4年度)
農業分野	特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証	特定復興営農コンソーシアム <u>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構</u> 、福島県農業総合センター、岩手県農業研究センター、宮城県畜産試験場、栃木県畜産酪農研究センター、北海道大学、岩手大学、福島大学、東京大学、京都大学、秋田県立大学、京都府立大学、高知工科大学、北里大学、(独)家畜改良センター、日産化学(株)、福島県農林水産部農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 特定復興再生拠点区域等の除染後圃場における、既存技術の実証と課題の対策技術を確立する。「見える化」技術を活用による現状把握、地力回復技術、加害動物及び雑草管理技術、放射性物質のリスク評価・カリ施肥適正化技術を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「見える化」技術を活用した生産環境評価技術の確立、WEBアプリ化 地力回復技術及び雑草管理技術の開発・実証 放射性物質のリスク評価及びカリ施肥適正化等安全性確保対策技術の確立 など 	<ul style="list-style-type: none"> 測定範囲を拡大したロボットの拡大前と同等の精度(±25%を目標)の達成と確認 体重が6.5kg以上のアライグマ成獣個体8頭にGPS機材を装着し、個体の行動解析に着手 花き(ストック)栽培における「通り農業支援システム(改)」の活用事例案を作成など
農業分野	広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立	広域エリアを対象とした大規模水田営農における生産基盤技術の確立コンソーシアム <u>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構</u> 、福島県農業総合センター、(株)やまびこ、全国酪農業協同組合連合会酪農技術研究所、宮城県古川農業試験場、東北大学、福島県農林水産部農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 深刻な担い手不足に対応するため、大面積を少ない人数で省力的に作物生産すると同時に、単収や収益性を確保できる水田輪作営農体系を構築する。劣悪な土壌条件や、雇用労働力等の熟練度の高い労働力に対応した技術を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模水田輪作営農における高位安定生産技術の開発・実証 大規模水田輪作営農を支える圃場管理、栽培管理技術の開発・実証 大規模水田輪作営農におけるデータ分析・活用手法の実証と開発技術の経営的評価 など 	<ul style="list-style-type: none"> 子実用トウモロコシの現地圃場試験により、湿害発生時の追肥により子実収量の向上が可能となることの解明 子実用トウモロコシの実規模での目標収量(800kg/10a)の達成など
農業分野	先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培・出荷技術の確立	復興野菜畑作コンソーシアム <u>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構</u> 、福島県農業総合センター、岩手県農業研究センター、福島大学、大阪府立大学、京都大学、福島県農林水産部農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 深刻な担い手不足に対応するため、多様なデータを効果的に活用し、畑作物の省力栽培・出荷技術の実証及びロボットを活用した施設園芸技術の実証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設果菜類の雇用労力とロボットを作業主体とした大規模経営技術の開発・実証 加工適性の高いコムギの導入による省力高収益生産技術の開発・実証 露地野菜、畑作圃場の診断に基づく総合的雑草防除体系の確立 など 	<ul style="list-style-type: none"> キュウリの整枝法が労働時間や収量に及ぼす影響の把握、雇用労働による栽培に適した品種を茎長/節等の指標を用いて解明、新たに有望と考えられた品種の特性解明 R4年産コムギ「夏黄金」により福島県に適合する施肥体系を選定し、現地実証試験の開始など
水産分野	多様な漁業種類に対応した操業情報収集・配信システムの構築	ふくしま型漁業推進研究コンソーシアム 東北大学、福島県水産海洋研究センター、福島県内水面水産試験場、国立研究開発法人水産研究・教育機構、いであ(株)、(株)マイトベーシックサービス	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した漁況予測や資源状況、市況情報等の操業支援情報として漁業者に配信するシステムについて、水温や塩分等の海洋環境観測装置を様々な漁具に取り付けることで、リアルタイムに近いデータ収集を行い、これまで操業支援システムが対応していなかった種類の沿岸漁業や内水面漁業についても、漁場予測の提供等の操業支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 操業支援のためのシステム拡充 内水面漁業における情報収集・配信システムの実証 多様な漁業種類におけるリアルタイムデータの配信と活用方法の検討 など 	<ul style="list-style-type: none"> 評価ヒアリングの結果を踏まえた福島版デジタル操業日誌アプリの構築 本県で水揚げされた魚介類に対して化学分析による脂質の測定部位の決定、1魚種に対する検量線の作成など
水産分野	ICTインフラを用いた効果的な種苗放流による資源の安定化	福島種苗放流技術共同研究コンソーシアム <u>福島大学</u> 、京都大学、(株)KANSOテクノス、福島県水産海洋研究センター、福島県水産資源研究所	<ul style="list-style-type: none"> 魚体にセンサーを取り付けるバイオテレメトリー等により、放流したカレイ類等の稚魚の移動生態を把握し、操業支援システムと連携して放流効果の最大化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> バイオテレメトリーによる種苗放流対象魚種の年間を通じた移動生態把握技術の実証 近縁種を含む種苗放流効果の把握に係る技術実証 淡水を含む河口域における放射性物質環境評価手法の検証 など 	<ul style="list-style-type: none"> バイオテレメトリーシステムを構築するとともに、調査を実施するためのホシガレイ種苗10万尾程度を生産し、標識放流 河口域の環境水、堆積物、水生生物の放射性セシウム濃度の把握など